

1. 全国学校保健研究大会

日時：平成24年11月8日(木)・9日(金)

場所：熊本市 市民会館崇城大学ホール

全体会議

「睡眠と生活リズム指導の落とし穴」～個人差に基づく教育の重要性について～

熊本大学発生医学研究所准教授 桑 和彦先生

睡眠障害による不登校を含む若年者の治療にあたっておられます。ある高校生のカリキュラムは、朝課外の7時30分から始まり、課外や塾で帰宅は、10時過ぎになっている。睡眠時間は5時間もとれない場合があります。睡眠は体を休めるためではなく、脳の中でも、一番大切な大脳皮質を休めるためのもので、睡眠中は外からの情報が入らないので、効率よく記憶の消去・固定が出来るそうです。睡眠不足にならないようにうまく時間を使いたいと思いました。

講演資料は <http://www.k-net.org/Zenkoku2012.html> に掲載されています。

課題別研究協議会(第8課題 学校環境衛生)

快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方

研究発表

計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について

- 学校と関係機関で取り組む環境衛生活動を目指して -

熊本県山鹿市立来民小学校 学校薬剤師 大森 真樹先生

養護教諭 中川由起子先生

学校薬剤師、教育委員会、保健所の4～5人のグループで、各学校を巡回し、学校の養護教諭や担当職員とともに環境衛生検査を実施している。改善すべきことがあれば、その場で指導でき、予算が発生する時には、学校職員と教育委員会が相談して改善するようにしている。

学校薬剤師が、体育科及び家庭科の授業に参画し、換気の実験で、右図のような模型を利用し、線香の煙が、2箇所窓を開けないと換気しない様子を生徒に見せ、生徒の関心を高めていました。作成してみたいと思いました。



学校環境衛生管理の徹底を図る取り組み

- 快適な学校環境衛生を目指した日常点検の充実に向けて -

神奈川県横浜市立中学校 養護教諭 山下多美子先生

日常点検に重点をおき、日常点検表を作成し、実践されました。新しい仲間(温度圭)とネーミングし、温度計を教室に設置したそうです。

生徒が主体的に取り組む学校環境衛生活動の在り方

- 心身ともに安定した学校生活を目指して -

宮崎県立都農高等学校 養護教諭 山腰美穂子先生

2年前に赴任した時は、校舎内外での器物破損やゴミの散乱、ガムの吐き捨てなどがあつた学校でしたが、生徒指導部を中心に教職員が生活改善に取り組み改善された様子を紹介された。

指導助言

快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方

山形県教育庁スポーツ保健課 主査 渡邊 優一先生

3校の研究発表者に追加発言を求められ、活発な質疑応答が行われた。

講義

快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方

- 学校における化学物質の使用と管理について -

岐阜薬科大学 教授 永瀬 久光先生

水泳プール用薬品の塩素剤を中心に化学物質の注意点を話された。環境省のホームページにかんたん化学物質ガイド <http://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/index.html> がダウンロード出来るので、ご利用下さいと紹介されました。



2. 全国学校薬剤師大会

日時：平成24年11月8日(木)

場所：熊本ホテルキャッスル

特別講演「協働・育ち合う - いのち、健康、暮らしの守り人として - 」

日本社会事業大学 理事長 潮谷 義子先生(前熊本県知事)

少子化、フリーター、ニート、児童虐待、他職との協働を話された。

第63回全国学校薬剤師大会および全国学校保健研究大会は平成25年11月7日(木)・8日(金)に秋田市で開催される予定。